

P T A ・教育後援会会計監査（4月6日（水）） 校長挨拶

本日、会計監査のお仕事をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。

私には夢があります。

「いわき湯本高校」という「新しい風」を吹かせたい、という夢です。

そのために、大切にしたいことが「空気の教育」です。

家庭には「家庭の空気」、「家風」というものがあり、学校には「学校の空気」、「校風」というものがあります。

「空気の教育」は「形式」×「くりかえし」×「時間」によってできるあがるものです。

例えば、食事の前に、「いただきます」と言うのが「形式」です。「くり返し」言って、何年も続けて、「時間」をかけて、はじめて、雰囲気、「空気」が醸し出されます。

いわき湯本高校において「空気の教育」を大切にするに当たり、3つの「キーワード」があります。

1つめは、「ありがとう」と言える・言ってもらえる生徒・教職員・学校づくりです。

「ありがとう」と言えるためには、「友愛」の心が必要です。

「ありがとう」と言ってもらえるためには、「創造」する力が必要です。

「ありがとう」と言える・言ってもらえる人が、「自立」した人です。

つまり、校訓「自立」「友愛」「創造」を身につけた生徒を育てる学校をつくることです。

2つめは、地域とともにある学校づくりです。

地域を愛し、地域に愛され、地域を支える人を育てる学校をつくることです。

3つめは、学校づくりは自分づくりです。

これまでの湯本高校、遠野高校の「よき伝統・実績、熱い思い」を引き継ぎながら、「新しい学校」をつくることを通して、それまで気づかなかった自分の「新しい可能性」を発見し、磨き上げ、成長することです。

以上、「いわき湯本高校」という「新しい風」を吹かせたいこと、「空気の教育」を大切にすること、3つのキーワード「ありがとう」「地域とともにある学校」「学校づくりは自分づくり」についてお話ししました。

こうしたことを着実に進めていくためには、私たち教職員の日々の取り組みはもちろん、保護者の皆様やPTA・教育後援会の皆様など、学校関係の皆様の
ご支援・ご協力が必要です。

本日のお仕事も、「いわき湯本高校」という新しい学校づくりに対するご支援・ご協力の一つです。

どうぞよろしく願いたします。